

住宅改修・事例紹介 ③

はんどで施工した事例をご紹介します。
ぜひ、参考資料としてお役立て下さい。



ドアの開閉を安全に行いたい

このようなことでお困りでした

奥様と二人で生活していらっしゃいます。一人で歩いてトイレに行く時もありますが、トイレのドアが開き戸のため、開閉の度にバランスを崩して転倒しそうになっていました。また、出入り口が狭く、車いすでの移動の際は大変でしたので『**トイレのドアを、安全かつ楽に開けられるように改修してほしい**』とご相談いただきました。



K様（男性）70代
要介護4

パーキンソン病を患っており、バランスを崩しやすく歩行が不安定な状態でした。体調が悪い時の屋内移動は車いすを使用しています。

Before & After



開き戸（ドア）の時は、開閉時にドアの脇に寄ったり、少しさがったりという移動が必要でした。そのため、扉を引き戸に交換し、開閉時の動きが最小限ですむように改修しました。



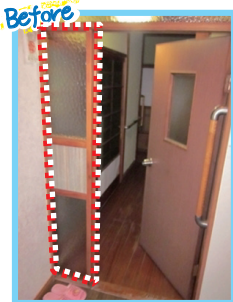
体調が悪い時に、屋内移動を車いすで行う時があったので、開口部を広くするようにしました。また、建具の取り替えと同時に敷居段差を調整し、バリアフリーにしました。



POINT

扉の交換に合わせて、敷居を取り除いたり、開口幅を広げるなどの工事を行うとより快適になります。介護する方、される方の状況をよく確認した上で、どのような建具に交換するか検討する必要があります。

トイレ内から廊下側を見た写真。以前、ガラス戸があった部分を撤去したので、開口部が広くなりました。



廊下側から見た写真。施工前の開口幅は73cm、施工後は90cmと広くなり、車いすでも楽に通れるようになりました。

施工後の感想

引き戸に取り替えたことで、バランスを崩しにくくなりました。また、出入り口を広げていただいたので、車いすでもトイレに行くときも楽に移動できるようになりました。

